

会議等開催結果報告書

1. 会議名	令和2年度(2020)第3回出雲市介護保険運営協議会		
2. 開催日時	令和2年(2020)11月19日 木曜日 14:00～15:40		
3. 開催場所	出雲市役所本庁3階 庁議室		
4. 出席者	<p><委員></p> <p>嵐谷直美委員、飯國吉子委員、石飛均委員、磯田洋平委員、岩崎陽委員、加藤哲夫委員、川谷吉正委員、是光章一委員、齋藤茂子委員、白築明子委員、塩飽邦憲委員、須谷生男委員、竹内一子委員、多田好江委員、永島真奈美委員、中本稔委員、中山博識委員、福場由紀子委員、祝部裕子委員、松浦久美子委員、松本弘委員、三原順子委員、山崎文夫委員 (50音順) (23名)</p> <p>欠席：高橋幸男委員、原洋子委員 (2名)</p> <p><事務局></p> <p>健康福祉部長、高齢者福祉課長、医療介護連携課長 ほか</p>		
5. 会議等において検討された事項等	<p>1 開会</p> <p>2 健康福祉部長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議事 (1) 第8期 出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(案)について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>		
6. 担当部署	健康福祉部高齢者福祉課、医療介護連携課	連絡先	0853-21-6212
7. 会議録	別添のとおり		

令和2年度(2020)第3回出雲市介護保険運営協議会会議録(要旨)

1. 開会	本協議会を公開で開催、傍聴人 0名
2. 部長あいさつ	省略
3. 会長あいさつ	省略
4. 議事	
会長	それでは、計画書(案)のまず1章から3章まで一括して説明いただいて、ご審議をお願いしたいと思います。
事務局	「第1章 計画の策定にあたって」から 「第2章 高齢者を取り巻く現状」 「第3章 計画の基本的な考え方」の説明
会長	1章でこの計画の公的な根拠や経過、2章で高齢者のサービス、3章で計画の基本的な考え方など、計画の総論的な内容を説明いただいたところですが、これについて、何かご質問や追加等のご意見はありませんか。 特に後で介護保険料に大きな影響があるのが、9ページの高齢者の推計や認定者の推計等となります。
A 委員	19ページの通所型サービスC、「筋力向上トレーニングと水中運動は、利用者が少なく事業効果が限定的であった」とありますが、事業効果が限定的というのは、これはトレーニングの効果が限定的だったという意味でしょうか。それとも人数が少ないからやめたということでしょうか。
事務局	筋力向上トレーニングと、水中運動の教室は人数が少なく事業効果が限定的というところ。また水中運動については、リピーターの方も多くて、きちんとした効果が見られないということで、令和元年度から、いきいき体操のみ行ってきています。
会長	同じことの繰り返しで広がりが無いということで、昨年このことについては議論がありました。よろしいでしょうか。 2ページのところの健康寿命について、空欄があるので説明を入れておいていただけますか。 それと、介護保険計画には、これまでの振り返りは、あまり書いてないですが、認定者数はこれまでの計画から見て当たっていたのでしょうか。
事務局	推計について前回の第7期計画では、例えば令和2年度10,164人と計画していましたが、現在のところ10,639人であり現状が多くなっている状況です。
会長	誤差としては多くないというところですかね。

事務局	誤差として、500人弱というところです。
会長	住民票を基にすると正確な人口がわかりません。国勢調査も100%というわけではありませんが、それを基に人口推計をされ、大きな誤差がなかったというところです。 計画の中で誤字脱字や言い回しなどでお気づきの点があれば、日時を区切って事務局にご連絡いただく機会を持ちたいと思います。 1章から3章までご承認いただけますでしょうか。ご承認いただける方は、挙手をお願いします。
委員	挙手多数
会長	1章から3章まで承認されました。 続きまして、4章から6章について一括して事務局から説明をお願いします。
事務局	「第4章 地域包括ケアを支える機能の強化」から 「第5章 健康寿命の延伸・生きがいつくりの推進」 「第6章 安心して暮らせるまちづくり」の説明
会長	地域支援部会で議論してきた内容です。「自立を支える」から「介護と医療の連携」などいろいろなものを含みますが、このことについて何かご質問等ありますか。
B委員	計画に基づいて期待したいということをお話させていただけたらと思います。 地域特性のところ、高齢化率を初め結構差があるというところですが、たぶん、社会資源に関しても、医療機関を始め差があると思います。地域特性を踏まえたネットワークづくりを、だれがどこで、ということを押さえながらそれぞれの地区で関係の皆様が取り組んでいただけたらいいなと思いつながら、計画書を見させていただきました。 生きがいつくりですが、高齢者の方が生産活動する場に参加される場を多く持って、生きがいややりがいを感じていただけて活動ができるといいなと思います。
会長	要望ということですので、今後の活動に活かしていってもらえたらと思います。
事務局	各地域の高齢化率や高齢者人口が異なります。社会資源についても広い地域の中で、山間部もあれば海岸部、街部もあるというところで違いもあるので、地域特性に即した支援ができればと思います。 2点目の、生きがいつくりについてですが、会長さんからも農業という具体的な言葉をいただいていますので、課題としてそういう場ができたらいいなと思っていますので、努力していきたいと思っています。

<p>会長</p>	<p>一点目の課題につきまして、37 ページで説明がありましたが、地域ケアの推進会議での課題出しが充分でなかったということで、ここを活性化していただいて、それぞれの地域で実態なり資源の状況に応じての対応を、少し整理していただけたらいいのではと思います。</p> <p>43 ページの通いの場を強化しようというところで、特に自立支援のところで大きなウエイトが置かれています。10%を目標にして、平成 30 年度の実績が 9.4%、令和元年度は 6.3%というのは、厳密にサロンを月 1 回以上開いている所を集計してみると少なかったという解釈でよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>新型コロナの関係で、サロンも毎月開催される所が 2 月、3 月は少なくなった影響で実績が 6.3%ということになりました。毎月開催される所も少しずつ増えてはいるのですが、令和元年度はこういう状況でした。</p>
<p>会長</p>	<p>他にはいかがでしょうか。</p> <p>C 委員さん、何かありますか。</p>
<p>C 委員</p>	<p>心配事があるとしたら、私ども近隣の地域では高齢化率がすごく高くなりまして、地域包括ケア共助とか、近隣の助け合いなど昔からあったのですが、これがなかなか難しくなってきたという状況です。支えてあげる方が弱ってしまっているということがあります。地域包括ケアの取組みや地域の役割が果たせていける状況なのかということが、心配されるところです。地域性があるって、それぞれ違うと思いますが、そういったところに目を向けていただければ、少しは地域住民が出かけていけるのかなと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>コミセン単位や中学校区単位の高齢化率を 33 ページにまとめていただいています。前期高齢者と後期高齢者に分けて書いていただくと、より C 委員さんがおっしゃったようなことが、リアリティを持って見えるかなと思います。コミセン単位でもよいので、前期と後期を分けて入れてもらうことができたらと思います。</p> <p>その他にありませんでしょうか。</p>
<p>D 委員</p>	<p>たすけあい活動団体というところで、48 ページになります。今までできたことができなくなった、そのできなくなった部分をお手伝いするという活動です。NPO 団体等もありますが、各地域の中で互助団体が徐々にできてきているというところですよ。それによって移動支援等も検討されているというところですよ。ここにあがっている中では 5 団体が移動支援等に係わっています。新たに、こういった活動に刺激されて 3 地区が立ち上がる予定です。その他の所でも 2 地区の所で取組みを検討しておられるというところですよ。</p>
<p>会長</p>	<p>今日か昨日の山陰中央新報で、浜田市で認知症の徘徊のお年寄りの杖とか衣類にタグを付けて分かるようにする仕組みを行ってこう、という記事が出ていたのですが、出雲市では徘徊の問題というのはどうでしょうか。</p>

D 委員	66 ページ④のところに、行方不明者の早期発見ということで出雲市社会福祉協議会と出雲警察署が連携して「SOSメール安心ネットワークシステム」を作っています。メールによって、警察の方から登録者に対して「こういった人が今、行方不明になっています。」ということを出します。現在、高齢者の中で 120 名登録しておられます。登録に結び付くというのが、警察の情報では年間 60 人くらいの認知症と思われる方が行方不明になっているとのことです。警察から SOS メールを紹介されて、社協に来られて登録されることが多くなってきています。
E 委員	先ほどの浜田市のケースですが、県の認知症施策検討委員会でもありまして出席しました。委員さんから浜田市の情報があり、バーコードを登録しておいて、それを衣服につけて、それによって徘徊された方に対して、どこでも携帯でそれを読み取れるので、発見が早くできるということと情報の共有が進むという紹介がありました。そこで県全体として進めていってはどういう提案がありました。県の高齢者福祉課の方が、その状況を調べてみて予算的なことも踏まえて、良い取組であれば、調査をしながら、対応ができるかということも検討しますという返答をされました。
会長	衣類は、なかなか大変かなと思いますが、杖にはいいですね。
E 委員	杖とか、よく履かれるシューズとかにつけて行うということ、浜田市が先行してされたという報告もありました。
会長	計画期間中に、そうした取組をされればと思います。 F 委員、介護医療の連携のところでは何かありませんか。
F 委員	コロナの関係で 4 月から在宅療養懇話会を中止していましたが、11 月に再開しまして、60 名ばかり会場に来られました。やはり皆さんそうした会を望んでおられるのだなと思いました。これから 12 月、2 月、3 月に開催しようと思っています。そうしたところで、医療と介護の連携を取るようなことを考えています。
会長	他にご意見はありますか。
委員	質疑なし
会長	第 4 章から第 6 章までご承認いただけますでしょうか。ご承認いただける方は、挙手をお願いします。
委員	挙手多数
会長	挙手多数で承認されました。 続いて、介護給付部会で協議されました第 7 章、残りの第 8 章、第 9 章について、

	事務局から説明をお願いします。
事務局	「第7章 介護サービス基盤の整備」から 「第8章 介護保険事業費の見込み」 「第9章 計画の円滑な推進のために」の説明
会長	第7章は、介護給付部会でご審議いただきました。何か追加でありますか。
A委員	特にないですが、在宅中心に支援をしていくということが、基本的な方針です。
会長	第7章について、施設サービスで利用されると、在宅サービスで利用される倍以上費用がかかります。施設サービスを増やすと途端に第1号保険者の保険料に跳ね返るということになります。今、入所の希望を出して待機しておられる方もありますが、前の期であると要介護4以上であれば1年以内に入所されている。ある程度重度の方は入所されているということがありまして、これからの3年間で特養については増やさない。老健については、介護医療院への転換ということもあります。老健の入所でケアマネさんの所で、困っているというご意見もない。看護関係で定期巡回の訪問介護とか、看護を強化した多機能の居宅介護を強化することで対応していこうと説明であったところです。 実態としては、介護人材が不足しているので定員増には対応していない現状です。 第7章、第8章、第9章のところでご意見ご質問はありませんか。 85歳以上の増加、認定者の増加により、第7期より第8期の方が給付費は増えていくこととなります。高齢者人口は微増ですが、23%しか負担しませんので、将来を見据えて長い目で見ると増える傾向であるところです。1号被保険者は個人が介護保険料を払わないといけませんので、負担は大きいところです。 G委員さん、何かありませんか。
G委員	先般の部会でも申し上げましたが、人材の確保・定着ということで、今一番深刻なことは、介護に従事する職員の待遇改善、これが全ての根本ではないかと考えます。それをしないと、いろいろなシステムを作っても、最前線で働く職員が離職や介護職を希望しないという現実がいつまでたっても改善しません。 在宅介護という問題もありますが、在宅介護するうえでホームヘルパーさんが必要です。ホームヘルパーさんも、事業所職員以上に人材が不足しています。ホームヘルパーさんが少なくなれば、在宅介護が難しくなるという悪循環になります。新聞を見ていると介護報酬でも訪問介護については加算改定を見込んでいる、あるいは事業所職員の待遇改善、事業所報酬も改善の段階に来ているとありましたので、一安心していました。最前線で働く職員の待遇改善を、中長期的に考えていただいて発表していただくということが、私は大事ではないかと思えます。
会長	他にありませんでしょうか。全般的にどうでしょうか。7章から9章について、ご承認いただけますでしょうか。ご承認いただけます方は挙手をお願いいたします。

委員	挙手多数
会長	<p>挙手多数により承認されました。</p> <p>まだ空白のところもありますが議会に諮っていただいたり、パブリックコメントで進めていっていただけたらと思います。</p> <p>その他について、事務局の方から何かありますか。</p>
事務局	<p>皆様のお手元に、認知症ケアフォーラムのチラシをお配りしています。今回の計画の第6章の中でも、認知症の関係をあげています。お話にもありました「SOS安心ネットワーク」の活動についても、出雲警察署と出雲市社会福祉協議会の方で、事例についてもお話しいただいたり、第1部では認知症の人と家族の会の前理事長さんに来ていただいて、お話を伺う予定にしています。11月28日ですが、新型コロナも気になる場所ではありますが、市内発生が無ければ、今回のケアフォーラムを行っていききたいと思います。皆様につきましてもお出かけいただけたらと思います。</p>
会長	<p>計画について、委員の皆さんからお気づきの点があったら、いつまでに連絡いただいたらよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>11月27日金曜日までにご連絡をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、予定されていた議事は全て終了しましたので、事務局へお返しいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ご意見いただきました、高齢化率等の細分化した表し方等の修正を加えたもので、議会への報告、パブコメに提出したいと思います。</p> <p>今後の予定につきまして、12月議会に報告、パブコメを経た後、パブコメの意見を踏まえて若干修正を加え、来年1月28日の第4回介護保険運営協議会でお示しして審議等をお願いしたいと思っています。よろしく申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、本日の会議を終了します。</p>